平成20年度　　臨床検査科　業績集

１．抄読会

１）平成20年1月10日

羽沢　さゆり：ノロウイルスの流行　2006/07シーズン

参考文献；〈特集〉ノロウイルスの流行 2006/07シーズン；
病原微生物検出情報　月報　28：277-294, 2007.

２）平成20年2月21日

清水　マリ子：ルミパルスfによるHIV検査について
—　感染性ウインドウ期におけるP24抗原測定の意義　—

参考文献；関口　仁：HIV抗体精密測定とデータの読み方.
検査と技術　31：1185-1192, 2003.

小松　和子：人口内耳とはどんな器機ですか。

参考文献；伊藤寿一、中川隆之：難聴Q&A,ミネルヴァ書房,京都, 2005.

太田　和子：世界の結核、日本の結核

参考文献；青木　正和：世界の結核、日本の結核.結核81：623-628, 2006.

３）平成20年5月15日

工藤　協子：NST：栄養サポートチームについて

参考文献；東口　高志：NST実践マニュアル.医歯薬出版,東京, 2005.

４）平成20年6月12日

相沢　陽子：心房細動（af）について

参考文献；Medical Technology 34：1017-1053, 2006.
臨床検査51：731-736, 2007.
心電図パーフェクトマニュアル（羊土社）

渡辺　智：神経損傷の回避のための取り組み

参考文献；臨床病理55：252-255, 2007.
医学検査57：842-843, 2008.

５）平成 20 年 9 月 18 日

羽沢　さゆり：ペニシリン耐性肺炎球菌

参考文献；八田益充：ペニシリン耐性肺炎球菌.
臨床検査 52:362-365, 2008.

６）平成 20 年 10 月 23 日

佐藤　江利子：心不全マーカーBNP、NT-proBNP

参考文献；仲居賢司：心筋バイオマーカー；心不全マーカーBNP、
NT-proBNP .Medical Technology 36：367-371, 2008.

魚住　美保子：心不全

参考文献；安部総一郎・森田敏子：関連図で理解する循環器疾患のしくみ.日総研出版, 14-17, 2005.

７）平成 20 年 12 月 11 日

小塚　源儀：不適合輸血を防ぐための検査

参考文献；石井規子：輸血製剤の適正使用のために-輸血検査、輸血管理はどのように行うべきか-；不適合輸血を防ぐための検査.
Medical Technology 34：1120-1124, 2006.

松山　美穂子：インフォームド・コンセント

参考文献；「貯血式自己血輸血の概要と実際」日本自己血輸血学会
厚労省からの通達（平成 9 年）

市川　聡：乳腺疾患の鑑別診断における免疫組織染色の有用性

参考文献；森谷卓也：乳腺疾患の鑑別診断における免疫組織染色の有用性.Medical Technology 36：1250-1252, 2008.

花田　綾子：COPD（慢性閉塞性肺疾患）

参考文献；西村正治：COPD 完璧マニュアル．Medical Technology 34:
1216-1248 , 2006.

佐藤　倫子：GPT の異常低値について

参考文献；大久保昭行：GPT の異常低値.検査と技術 15：1247-1248, 1987.

２．学会発表

１）当院における血液製剤廃棄削減への取り組み

第33回　秋田県医学検査学会　平成20年11月22日（由利本荘市）

〇小塚源儀　松山美穂子　太田和子　黒滝日出一　小笠原仁

平成 19 年度秋田県合同輸血療法委員会による血液製剤使用状況調査において、当院の血液製剤廃棄単位数が最多であった。このことを受け、当院輸血療法委員会を中心とした廃棄削減への取り組みをを行い、その結果を報告した。

２）当院におけるカテーテル関連血流感染防止管理個人シートの解析～2006 年～

第33回　秋田県医学検査学会　平成20年11月22日（由利本荘市）

〇 佐藤謙太郎　羽沢さゆり　奈良昇悦　太田和子　黒滝日出一　高橋義博　　金沢久男

カテーテル関連血流感染症防止対策として、院内では 2004 年より「血流感染防止管理個人シート」を運用している。今回、この 2006 年分を解析することで、感染発生の危険因子を調査し、その結果を報告した。

３）GFR 推算値とクレアチニン・クリアランス、U-Alb の比較

第33回　秋田県医学検査学会　平成20年11月22日（由利本荘市）

〇工藤協子　遠藤令子　佐藤倫子　高谷知華　斉藤亜希子

2008 年 3 月に発表された日本人用 GFR 推算式（日本腎臓学会推奨）を用いて GFR 推算値とクレアチニン・クリアランス、及び U-Alb の値を比較検討して報告した。

３．院内研修会

１）検査値と病気のかかわり　～一般健康診査・検査項目についての解析～

市内病院栄養士会　平成20年7月31日　管理棟4階

工藤協子

臨床検査の意義、種類、検査結果の解釈、栄養と臨床検査のかかわりについてお話した。

２）MA 研修会　臨床検査科1回目　平成20年11月13日　管理棟4階

工藤協子

臨床検査の意義、種類（外注含む）を説明した。検体検査部門（一般検査、血液検査、生化学・免疫検査）におけるオーダリングシステムについての説

明をし、生理検査とのシステムの違いを話した。

3）MA 研修会　臨床検査科 2 回目　平成 20 年 11 月 27 日　管理棟 4 階

太田和子

医師の感染症届出業務の手助けになれることを目的として、改正感染症法の改正された背景、目的から構成、届出方法の違いなど、特に結核（第二類）など基礎知識を研修していただいた。

参考文献；小栗豊子，岡部信彦，新井和明：改正感染症の基礎知識.
臨床と微生物 3, 209- 292, 2008.

4）当院における耐性菌とカテーテルサーベイランス　最近の動向

～個人シートから見えてきたこと～

医局集談会と院内感染対策委員会で合同研修会

○太田和子　羽沢さゆり　佐藤謙太郎　奈良昇悦

講演前半で話題の耐性菌の基礎知識とその動向を、後半ではカテーテルサーベイランスの現状と個人シートの解析から得られた知見を述べた。講演の目的は①耐性菌を作らないための抗菌薬の適正使用と②耐性菌も含めたカテーテル感染症の低減を目指す CV カテーテル管理のマニュアル遵守③耐性菌蔓延を防ぐ院内感染対策のための手洗い励行を促すものであった。